

ID No.	3015
研究課題名	新世界ザルの生物学的特性の解明
研究代表者	木曾 康郎 (山口大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	甲斐 知恵子 (東京大学医科学研究所・教授) 日下部 健 (山口大学・准教授) 鈴木 樹理 (京都大学・准教授) 吉澤 緑 (宇都宮大学・特任教授) 石田 貴文 (東京大学・教授) 横田 伸一 (東京大学医科学研究所・助教)
研究報告 1. 生殖工学的解析 2017 年 11 月 30 日から 12 月 3 日まで、宇都宮大学特任教授の吉澤緑と大学院生西萌香、共同研究先のおち夢クリニック名古屋の胚培養士の渡辺真一と三浦恵が奄美病害動物研究施設に滞在し、リスザルの卵胞内卵子、精巢上体尾部精子を用いて生殖工学実験を実施した。 2. 行動学の解析 2018 年 2 月 28 日から 3 月 3 日まで、京都大学准教授・鈴木樹理が奄美病害動物研究施設に滞在し、リスザルの行動学的特徴を明らかにするために、Actiwatch を装着し Activity counts (AC)、Total sleep time(TST)と Sleep episode length(SEL)を計測した。 3. 繊維芽細胞株の確立 2018 年 3 月 13 日から 15 日まで、東京大学教授・石田貴文が奄美病害動物研究施設に滞在し、ヨザルおよびリスザルの行動学的特徴ならびに繊維芽細胞の培養をした。	